

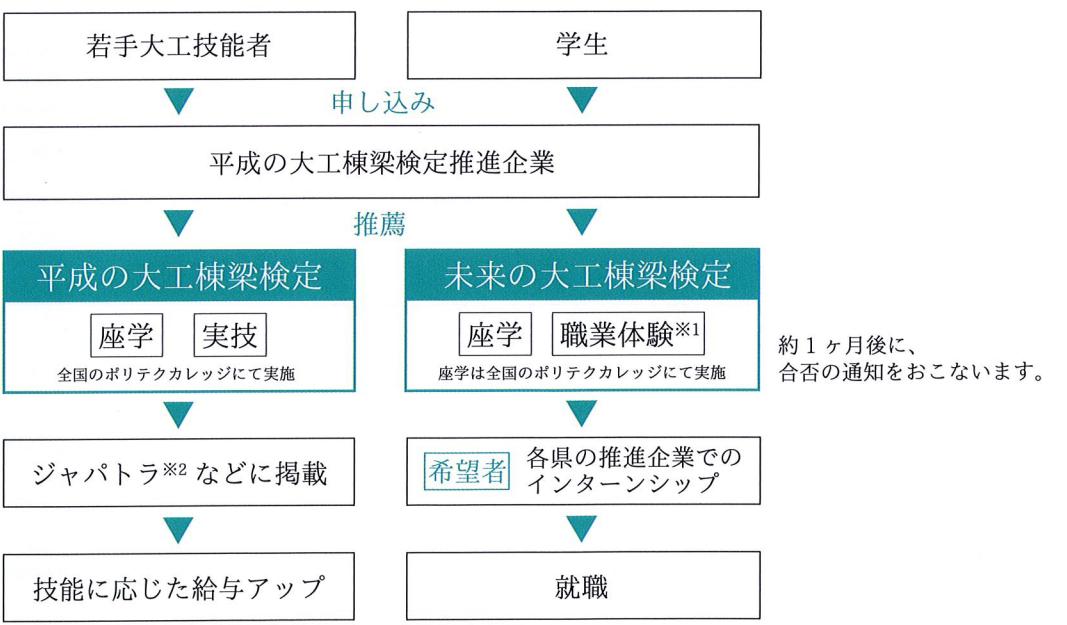
大手保険会社である第一生命保険株式会社が毎年実施している「大人になったらなりたいもの」ランキングで1998年に「大工さん」が男の子の希望の職業トップに躍り出て話題になり、2017年でも第7位で、過去ずっと10位以内に「大工さん」があこがれの職業としてランクインしています。

また工務店のウェブサイトには10代や20代の若者から「大工になりたい」という問い合わせがあり、近年は女性からの問い合わせもあるといいます。しかし、実際に大工になろうとすると、どうすればいいのかという情報は極端に少ないことがわかります。また、大手の企業だから安心だと思い就職してみても、工業製品化した住宅では大工というよりは組立工のような仕事ばかりで、夢に描いていたような仕事ができず、技術も身に付かず仕事が面白くなり途中でやめてしまうことが多いと聞きます。

我々の団体は古い日本の文化を継承している古民家を扱う専門団体であり、技術の継承も重要な使命と考えています。技術を継承していくことは古民家などの日本の住文化を守ることでもあり、また研鑽を積んだ結果を検定制度で認定することは将来に渡る生活の安定においても欠かせないことだと考えています。



お申し込みの流れ



お問い合わせ



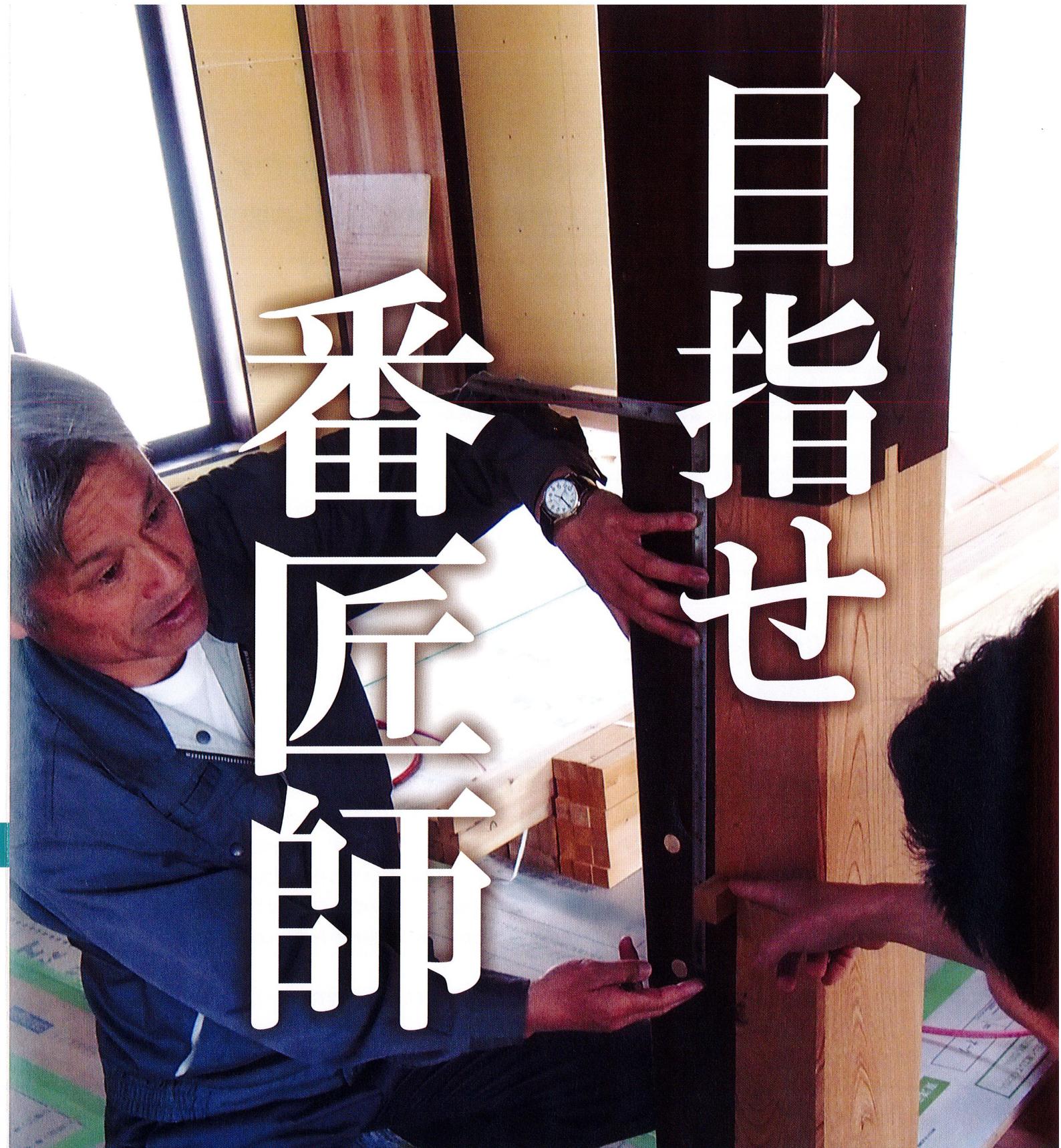
一般社団法人
全国古民家再生協会

〒107-0061 東京都港区北青山2-7-26
TEL 03-6890-0641 FAX 03-6856-4414
<http://www.g-cpc.org>



一般社団法人
全国新民家推進協会

〒107-0061 東京都港区北青山2-7-26
TEL 03-6890-0989 FAX 03-6856-4414
<http://shinminka.org>



平成の大工棟梁検定 受検者募集

番匠師（ばんじょうし）とは昔の大工さんのこと。立烏帽子（たてえぼし）を被り現場で指揮をする棟梁。棟梁は設計士であり、現場監督であり、最高の技術者でもあります。『平成の大工棟梁検定』は、未来の番匠師を目指す方に受検いただきたい検定です。

一般社団法人
全国古民家再生協会

一般社団法人
全国新民家推進協会

日本はものづくりの文化です。

その文化を支えているのは高い技術を持った職人達です。

伝統技術を継承するために大工が技術を磨くことが必要です。

私たちは、若手大工の人財育成をおこなっています。

高温多湿で地震の多い日本において木造住宅は世界でもトップクラスの高い技術力を持って建てられています。どんなに家づくりの機械化が進もうと、大工が作る本来の家づくりをするために、過去の技術を学び、現在のライフスタイルに合わせた住まいを提供できるプロの大工技能者が求められています。それは大工技能者が扱う木材自体が自然素材だからです。

若手大工育成は古民家の保存活用や地域の木造文化を継承するために必要であり、育成事業は業界全体でおこなうべき社会的役割もあります。また大工の技能が地域工務店の最大の競争力にもなります。我々は「平成の大工棟梁検定」を通じて、全国各地で地域の住文化に密着した技の継承を実施しています。

地域の住文化を後世に残していくためにも

「大工」の重要性はますます高くなります。

イギリスにはクラフトマンシップに基づく徒弟制度が残っています。有能な技能者から技能や知識の伝承を徒弟訓練生が学ぶ機会を生み、また雇用されていることで安心して技能の向上を目指すことができる仕組みです。徒弟生への投資は企業ブランドや、地域社会におけるイメージを向上させ、約束された貴重な労働力になり、経験豊富なスタッフ・メンバーとなります。消費者はその企業に現在および将来に渡り技能が継続されることに安心します。日本においても徒弟制度はありましたが現在は形骸化されています。昔のような精神論でのただ厳しいだけの親方制度ではなく、イギリスのような制度化された仕組みとして整備し活用することが今後の技能者の育成には必要です。

日本の中小零細住宅業界は新しい人材を募集することに慣れておらず、技能育成についても難しく考えがちです。地域の職業能力開発大学校などと連携し、インターンシップ制度を活用することで、企業にとっても、就職を考える人材にとってもメリットが出ます。また労働環境を整えることは3K（キツイ・汚い・危険）と言われる業界イメージを改善する上でも必要です。我々の団体では、下記のような取り組みを実施しています。

- 1、労働基準法に合った（休日・時間等）仕事の形態
- 2、各種保険の完備
- 3、固定給の安定的な収入
- 4、高い技術を必要とする安定的な仕事を
地域ネットワークで確保
- 5、全国各地で愛ある厳しさの中での技術の向上

また、マナー研修や営業研修など技術の向上以外にも人間性の向上のための投資も積極的に実施しています。



平成の大工棟梁検定

全国にある平成の大工棟梁検定推進企業が職業開発大学校（ポリテクカレッジ）と連携して各地域で開催しています。

平成29年度実施会場

北海道職業能力開発大学校	10月 18日（水）
東北職業能力開発大学校附属秋田職業能力開発短期大学校	10月 8日（日）
東北職業能力開発大学校	11月 25日（土）
関東職業能力開発大学校	10月 31日（火）
関東職業能力開発大学校附属千葉職業能力開発短期大学校	10月 5日（木）
東海職業能力開発大学校浜松校	10月 19日（木）
北陸職業能力開発大学校附属新潟職業能力開発短期大学校	10月 24日（火）
近畿職業能力開発大学校	9月 19日（火）
近畿職業能力開発大学校附属滋賀職業能力開発短期大学校	11月 28日（火）
中国職業能力開発大学校附属島根職業能力開発短期大学校	11月 15日（水）
四国職業能力開発大学校	11月 22日（水）
九州職業能力開発大学校	11月 17日（金）
沖縄職業能力開発大学校	10月 11日（水）

開催時間

(全会場共通)

8：45～ 受付

9：00～11：50 座学並びに試験

13：00～15：30 実技検定

募集要項

1、平成の大工棟梁検定

当団体の平成の大工棟梁推進企業に所属するあるいは推薦を受けた大工技能者

2、未来の大工棟梁検定

ポリテクカレッジに所属する学生又は建築を志す学生で、平成の大工棟梁検定推進企業で3日以上の職業体験を受けられる者。

(建築設計、デザイン等の専攻で現場を体験したい前向きな学生歓迎!)

検定費用

無料（ただし、平成の大工棟梁検定推進企業の推薦が必要）

検定内容

1、平成の大工棟梁検定（若手大工技能者向け）

座学及び実技検定

合格者は技能により平成の大工棟梁検定一級及び二級として認定

2、未来の大工棟梁検定（学生向け）

座学及び職業体験修了の実技検査検定

合格者は技能により学生向け未来の大工棟梁検定一級及び二級として認定

座学：伝統構法の特徴や歴史など、木材の継手や仕口などについて2時間の学習をおこなった後マークシートによる試験を実施

実技：2時間にて出題される課題の加工を電動工具を使わずにこなす。

採点方法…平成の大工棟梁検定実施委員会が認定した大工棟梁が規定の採点項目において採点

このような方にお勧めです

若手大工技能者の方

- ・伝統技術をより磨きたい
- ・心技一体でマナーや仕事に対する心構えを勉強したい
- ・技術に対する資格取得でお客様への信頼を得たい
- ・検定を受けて収入UPにつなげたい

学生の方 ※大工志望以外の建築系学生も歓迎！

- ・技術を勉強して就職に活かしたい
- ・将来大工を目指しているが安心して働く工務店を探したい
- ・推薦工務店への職業体験で大工の仕事の楽しさを知りたい
- ・建築の設計やデザインだけでなく、作る現場を体験したい

